

2017年12月期 第3四半期業績 説明会資料

The logo for AGC, consisting of the letters 'AGC' in a bold, blue, sans-serif font. A small red square is positioned to the left of the letter 'C'.

AGC 旭硝子

■ 2017年12月期 第3四半期業績	P.3
1. 業績のポイントと主要項目	P.4
2. セグメント別・地域別の状況	P.14
■ 2017年 通期業績の見通し	P.26
付属資料	P.33

2017年12月期 第3四半期業績

1. 業績のポイントと主要項目

連結累計期間

売上高	10,640億円	前年同期比1,241億円(13.2%)の増収
営業利益	825億円	同 203億円(32.7%)の増益
税引前利益	807億円	同 335億円(70.9%)の増益
親会社の所有者に帰属する		
四半期純利益	606億円	同 277億円(84.2%)の増益

- ✓ 各事業で出荷数量増
 - ✓ 買収した企業の連結化
- ⇒ 増収増益を達成

連結純損益計算書

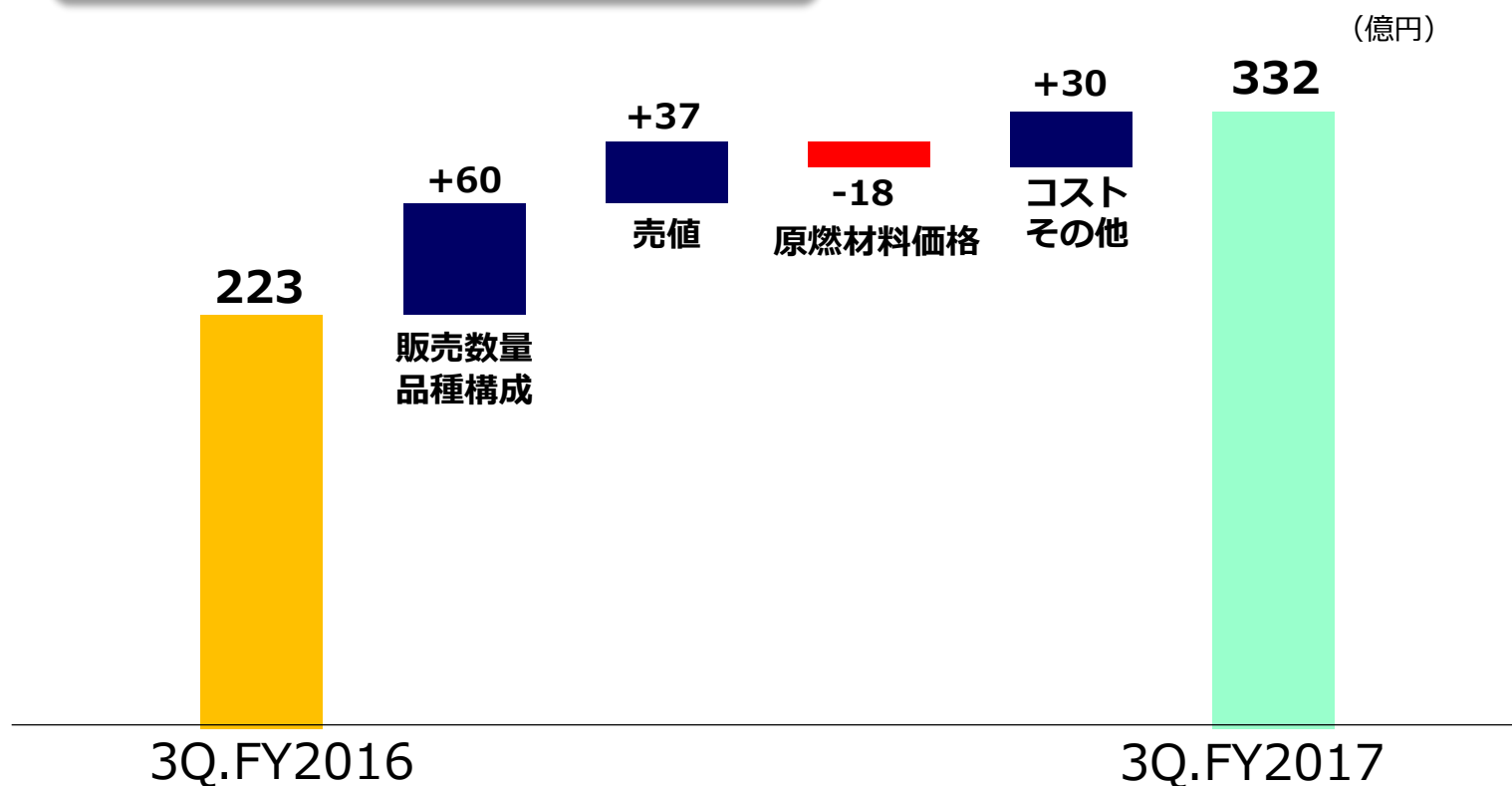
AGC

	3Q			1-3Q累計 (億円)		
	FY2016	FY2017	増減	FY2016	FY2017	増減
売上高	3,150	3,740	+590*	9,399	10,640	+1,241*
営業利益	223	332	+109	622	825	+203
その他収支	-105	-3		-129	-15	
事業利益	118	329	+211	493	809	+316
金融収支	-13	-11		-21	-2	
税引前四半期利益	104	318	+214	472	807	+335
法人税等	-29	-61		105	-127	
四半期純利益	75	257	+182	367	680	+313
親会社の所有者に 帰属する四半期純利益	59	231	+172	329	606	+277
非支配持分に 帰属する四半期純利益	17	26		38	74	

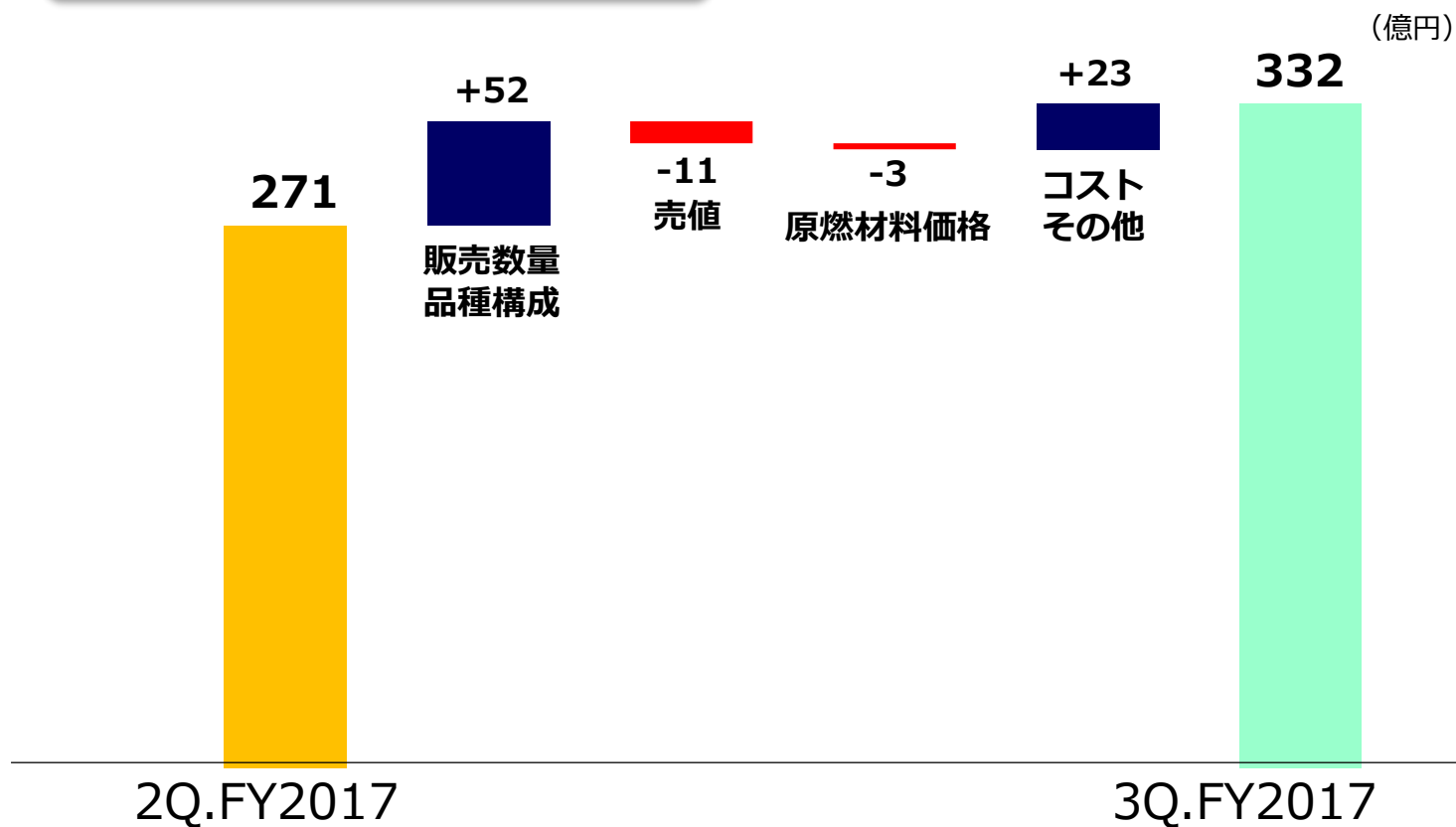
為替レート (期中平均)	JPY/USD	102.43	111.03	108.68	111.92
	JPY/EUR	114.28	130.38	121.18	124.55
原油	\$/BBL (Dubai)	43.4	50.5	39.2	51.1

* うち、為替差影響は、
3Q 売上高 +224億円、
1-3Q累計売上高 +190億円

前年同四半期比 109 億円増益

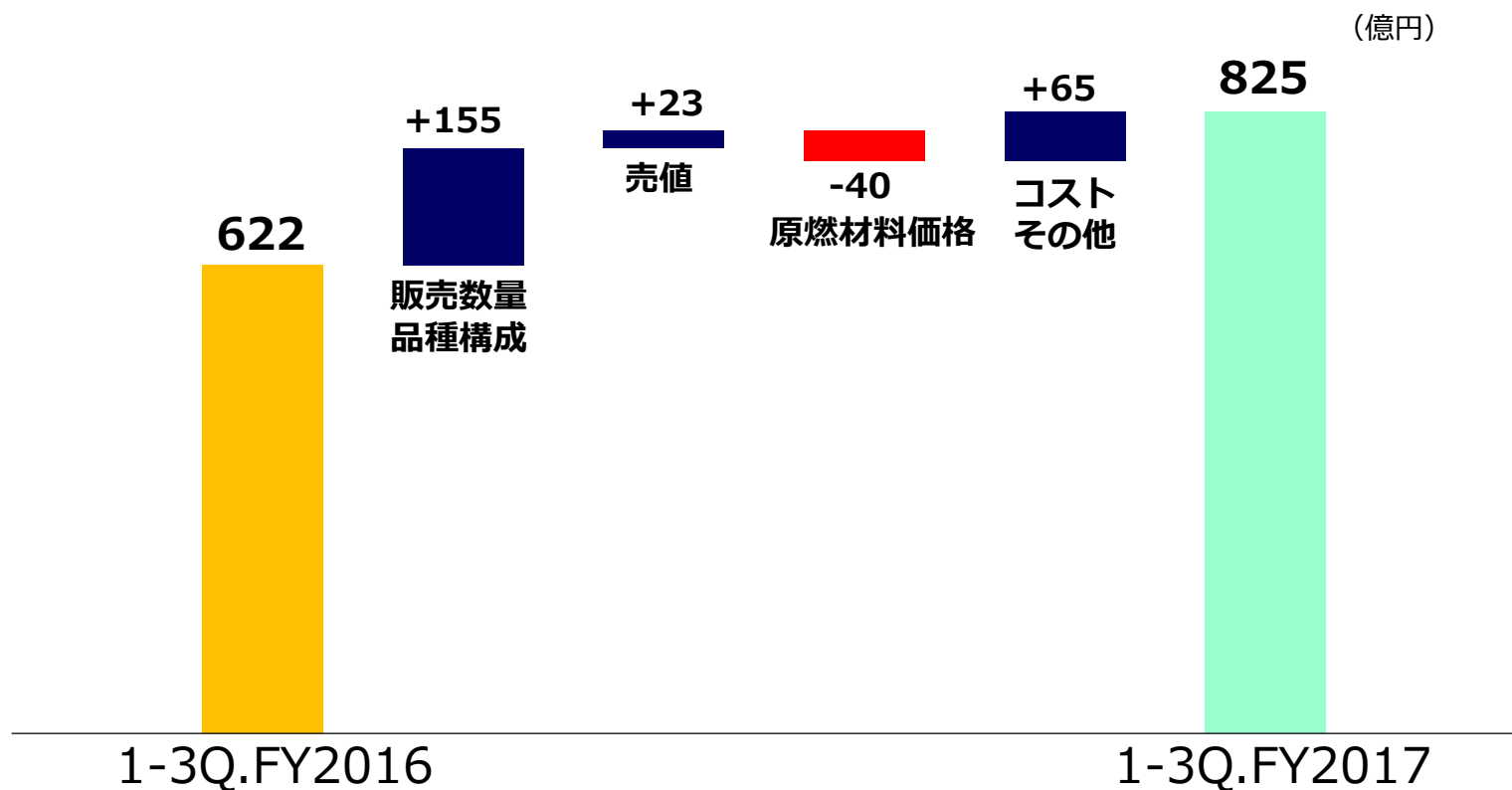


前四半期比 61 億円増益



営業利益増減要因分析(1-3Q.FY2017 vs. 1-3Q.FY2016) AGC

前年同期比 203 億円増益



	2016/12	2017/9	増減 (億円)
現金及び現金同等物	1,473	1,035	-438
棚卸資産	2,273	2,549	+276
有形固定資産・無形 資産及びのれん	10,001	11,359	+1,358
その他	6,067	6,354	+287
資産合計	19,815	21,297	+1,482*
有利子負債	4,340	4,628	+288
その他	3,787	4,176	+389
負債の部	8,127	8,804	+677
親会社の所有者に 帰属する持分合計	10,954	11,490	+535
非支配持分	733	1,004	+271
資本の部	11,687	12,493	+806
負債及び資本合計	19,815	21,297	+1,482*
D/E比率	0.37	0.37	

* うち、為替差影響は +347億円

連結キャッシュフロー計算書

AGC

	3Q		1-3Q累計	
	FY2016	FY2017	FY2016	FY2017
税引前利益	104	318	472	807
減価償却費及び償却費	293	332	911	958
運転資金増減	3	-127	35	-267
その他	-46	-119	-66	-198
営業活動によるCF	355	404	1,352	1,301
投資活動によるCF	-257	-341	-795	-1,564
フリーキャッシュフロー	97	64	557	-263
有利子負債増減	30	91	-63	161
支払配当	-104	-115	-208	-219
その他	-3	-3	-16	-129
財務活動によるCF	-78	-27	-288	-187
現金等に係る換算差額	-2	17	-43	12
現金等の増加額	18	54	227	-438

(億円)

	3Q		1-3Q累計	
	FY2016	FY2017	FY2016	FY2017
設備投資額	235	355	879	1,017
減価償却費	293	332	911	958
研究開発費	98	110	290	316

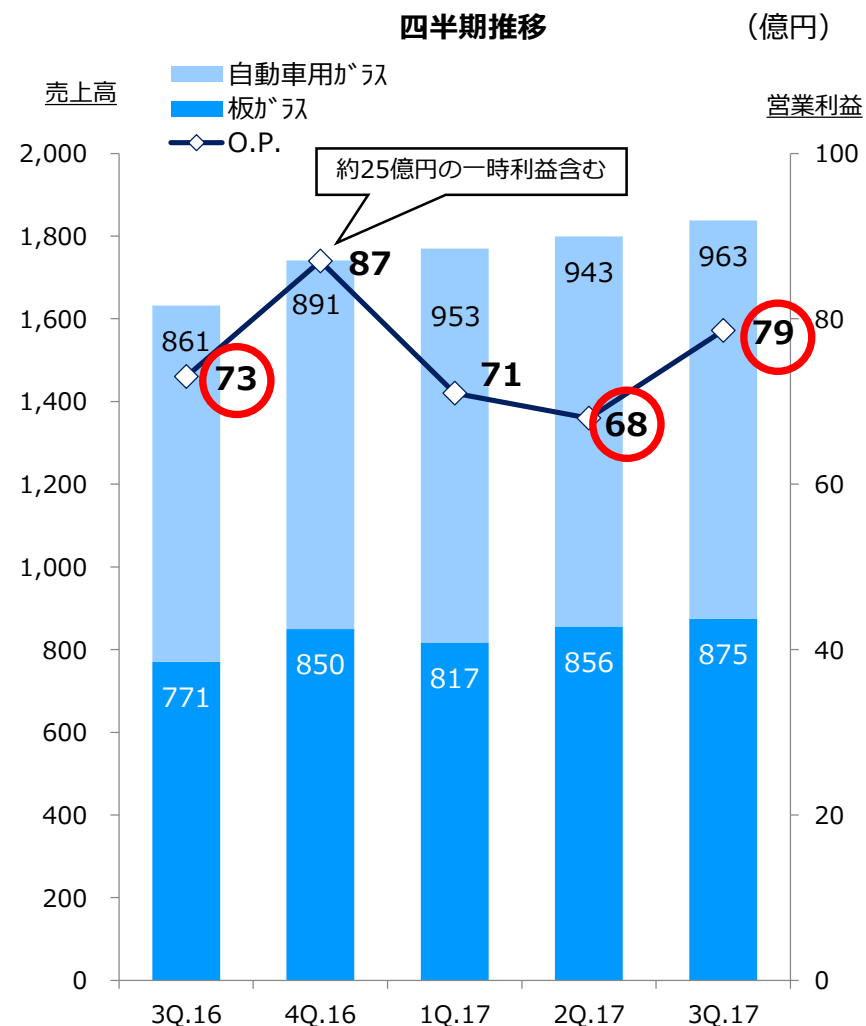
BLANK PAGE

2. セグメント別・地域別の状況

ガラス セグメント (1)

	3Q			1-3Q累計		
	FY 2016	FY 2017	増減	FY 2016	FY 2017	増減
売上高	1,635	1,837	+202	5,066	5,408	+342
営業利益	73	79	+5	232	218	-13

売上高の内訳		小計	日本・アジア	アメリカ	ヨーロッパ	消去
ガラス	3Q	1,837	800	331	749	-42
	1-3Q累計	5,408	2,330	959	2,237	-119
板ガラス	3Q	875	301	146	459	-31
	1-3Q累計	2,547	883	402	1,354	-91
自動車用ガラス	3Q	963	503	185	290	-15
	1-3Q累計	2,859	1,451	557	884	-32
セグメント内調整	3Q	-1	-5	0	0	4
	1-3Q累計	2	-4	0	0	5



- 出荷数量増加や欧州における建築用ガラスの販売価格上昇があるものの、原燃材料価格上昇の影響やコーポレート等の共通費用の配賦増加もあり前年同期（累計）比で減益

【前年同期比】

〔建築用ガラス〕

- 欧州で販売価格が上昇
- 北米で出荷が堅調

〔自動車用ガラス〕

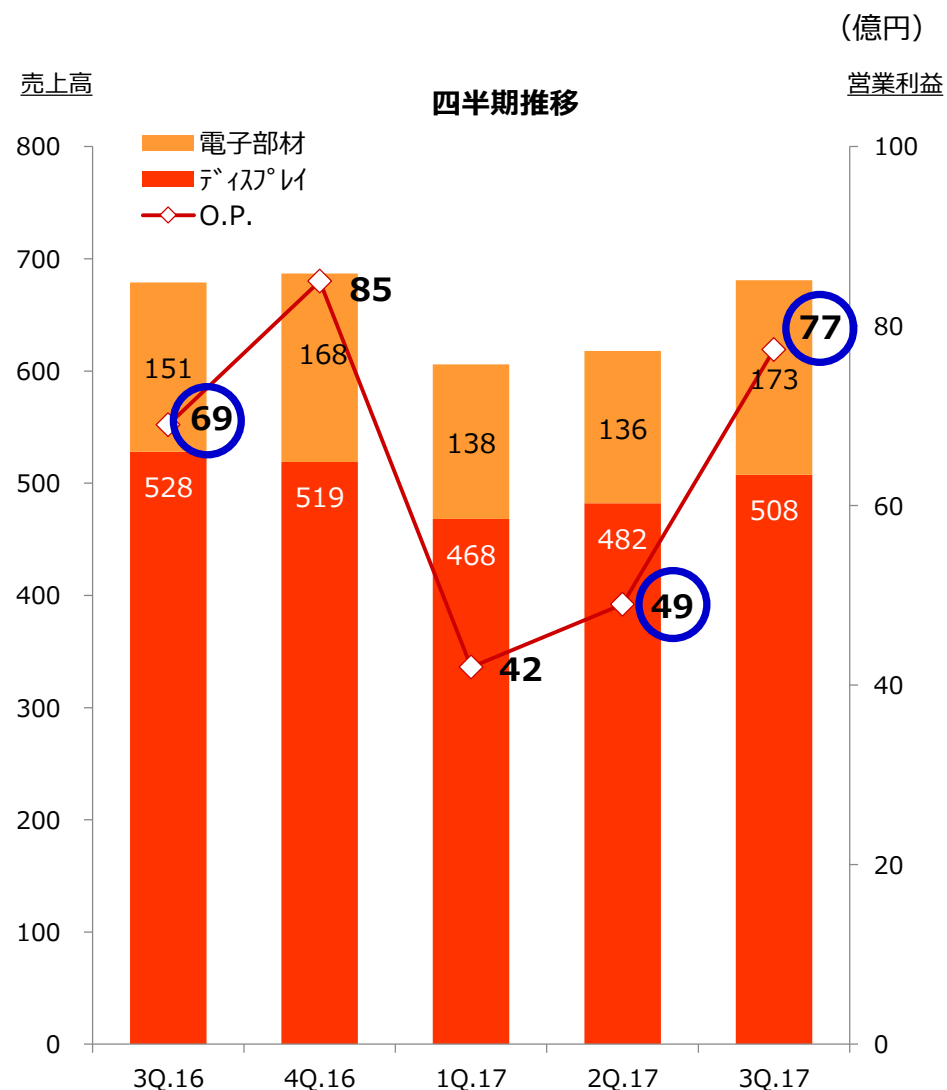
- 北米の自動車生産台数は減速感あるものの、全体としては堅調に推移したことから、当社グループの出荷も増加

電子セグメント (1)

	3Q			1-3Q累計		
	FY 2016	FY 2017	増減	FY 2016	FY 2017	増減
売上高	678	681	+3	1,894	1,905	+11
営業利益	69	77	+9	165	168	+3

売上高の内訳

ディスプレイ	3Q	508
	1-3Q累計	1,458
電子部材	3Q	173
	1-3Q累計	448



- 前年2Qに発生した一時利益（約20億円）の剥落や為替影響あるも、前年同期（累計）比で増益を達成

【前年同期比】

〔ディスプレイ〕

- 液晶用ガラス基板：販売価格は下落も、出荷が増加
- ディ스플레이用特殊ガラス：出荷が増加
- 車載ディスプレイ用カバーガラス：出荷が増加

〔電子部材〕

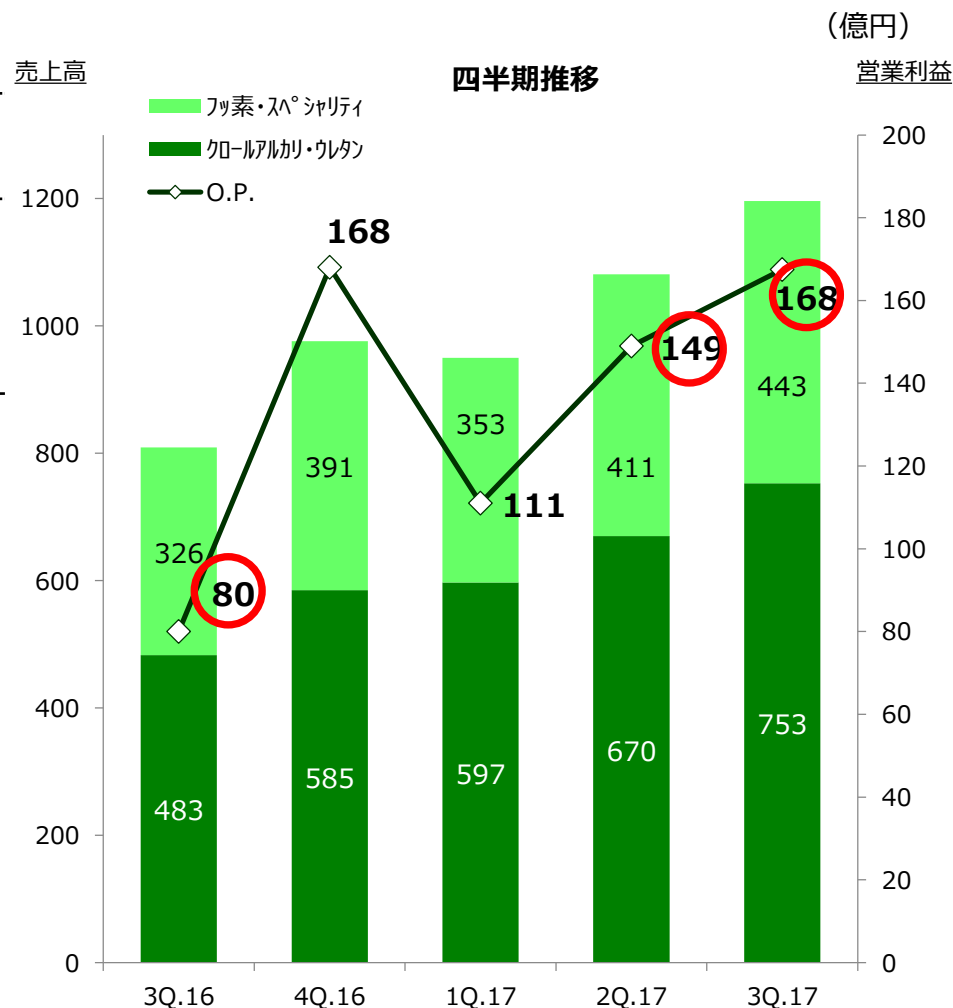
- オプトエレクトロニクス用部材、半導体関連製品ともに出荷が増加

化学品 セグメント (1)

	3Q			1-3Q累計		
	FY 2016	FY 2017	増減	FY 2016	FY 2017	増減
売上高	770	1,157	+387	2,242	3,124	+882
営業利益	80	168	+88	232	427	+195

売上高の内訳

クロールアルカリ・ウレタン	3Q	753
	1-3Q累計	2,020
フッ素・スペシャリティ	3Q	443
	1-3Q累計	1,207
消去	3Q	-39
	1-3Q累計	-104



* 組織改正を反映し、16年のサブセグメントの売上高を調整していますので前年度の公表数値と異なります。

- 前年同期（累計）比で大幅な増収増益を達成
- CMCバイオロジックス社の無形固定資産償却 8 カ月分を第3四半期に計上（10億円強）

【前年同期比】

〔クロールアルカリ・ウレタン〕

- インドネシア国内の需要拡大による出荷増
- 買収したビニタイ社の連結化（2017年3月～）

〔フッ素・スペシャリティ〕

- 買収したCMCバイオロジックス社を連結化（2017年2月～）
- 既存製品でも出荷が堅調に推移

セグメント別業績 前年同期比較

AGC

	3Q			1-3Q累計			(億円)
	FY2016	FY2017	増減	FY2016	FY2017	増減	
売上高	3,150	3,740	+590	9,399	10,640	+1,241	
ガラス	1,635	1,837	+202	5,066	5,408	+342	
電子	678	681	+3	1,894	1,905	+11	
化学品	770	1,157	+387	2,242	3,124	+882	
セラミックス・その他	166	187	+22	515	525	+10	
消去	-100	-123	-23	-318	-322	-3	
営業利益	223	332	+109	622	825	+203	
ガラス	73	79	+5	232	218	-13	
電子	69	77	+9	165	168	+3	
化学品	80	168	+88	232	427	+195	
セラミックス・その他	1	8	+7	-5	9	+14	
消去	-1	0	+1	-2	1	+3	

セグメント別業績 前四半期比較

AGC

(億円)

	2Q. FY2017	3Q. FY2017	増減	増減%
売上高	3,546	3,740	+193	+5.4%
ガラス	1,800	1,837	+37	+2.1%
電子	618	681	+63	+10.2%
化学品	1,050	1,157	+107	+10.2%
セラミックス・その他	186	187	+1	+0.6%
消去	-108	-123	-15	-
営業利益	271	332	+61	+22.5%
ガラス	68	79	+10	+15.1%
電子	49	77	+28	+56.4%
化学品	149	168	+19	+12.5%
セラミックス・その他	4	8	+4	+87.0%
消去	0	0	0	-

地域別業績 前年同期比較

AGC

	3Q			1-3Q累計			(億円)
	FY2016	FY2017	増減	FY2016	FY2017	増減	
売上高	3,150	3,740	+590	9,399	10,640	+1,241	
日本・アジア	2,211	2,594	+383	6,369	7,278	+909	
アメリカ	351	440	+89	1,105	1,251	+146	
ヨーロッパ	672	835	+163	2,195	2,465	+270	
消去	-85	-130	-45	-269	-354	-85	
営業利益	223	332	+109	622	825	+203	
日本・アジア	277	381	+104	729	945	+216	
アメリカ	8	11	+3	26	33	+8	
ヨーロッパ	17	29	+11	77	91	+13	
消去	-3	-1	+2	3	3	0	
地域共通費用	-76	-88	-12	-213	-248	-34	

地域別業績 前四半期比較

AGC

	2Q. FY2017	3Q. FY2017	増減	(億円) 増減%
売上高	3,546	3,740	+193	+5.4%
日本・アジア	2,409	2,594	+185	+7.7%
アメリカ	411	440	+29	+7.1%
ヨーロッパ	844	835	-9	-1.0%
消去	-117	-130	-13	-
営業利益	271	332	+193	+22.5%
日本・アジア	294	381	+87	+29.6%
アメリカ	15	11	-4	-27.0%
ヨーロッパ	41	29	-12	-28.9%
消去	0	-1	-1	-
地域共通費用	-79	-88	-9	-

為替換算・連結範囲変更の影響（前年同期比較）

AGC

（億円）

売上高	全社計*	ガラス	電子	化学品
1-3Q. FY2017	10,640	5,408	1,905	3,124
前年同期比	+1,241	+342	+11	+882
[以下影響を除く前年同期比]	+525	+211	-16	+325
為替換算の影響	+190	+123	+27	-38
連結範囲変更の影響	+526	+7	-	+519

•全社計には、セラミックス・その他、および消去の数値が含まれる為、各セグメントの合計とは一致しない

2017年 通期業績の見通し

売上高	14,500億円	(前期比 1,674億円の増収)
営業利益	1,150億円	(同 187億円の増益)
税引前利益	1,030億円	(同 354億円の増益)
親会社の所有者に帰属する 当期純利益	640億円	(同 166億円の増益)

- 株主還元策として、150億円の自己株式取得の実施を決定

2017年 通期業績見通しの主要項目

AGC

		FY2016	FY2017 予想	増減	増減%	(億円)
売上高		12,826	14,500	+1,674	+13.1%	
営業利益		963	1,150	+187	+19.4%	
税引前利益		676	1,030	+354	+52.4%	
親会社の所有者に 帰属する当期純利益		474	640	+166	+34.9%	
一株当たり配当金 (円) ^{*1}		90	100			
営業利益率		7.5%	7.9%			
ROE		4.3%	5.6% ^{*2}			
為替レート(期中平均)	JPY/USD	108.84	110.0			*1 当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合 しています。一株当たり配当金は株式併合の影響を踏まえて換 算しています。
	JPY/EUR	120.33	125.0			
原油	\$/BBL(Dubai)	41.5	52.1 ^{*3}			*2 FY2017予想のROEは、2017年9月末時点の親会社の所有 者に帰属する持分合計を使用しています。
						*3 FY2017.4Qの前提は55.0 \$/BBL(Dubai)です。

〔ガラス〕

- 建築用ガラス

 - 西欧：需給引き締まった状況が継続

 - 日本・アジア：堅調に推移

 - 米国：引き続き高いレベルの出荷が継続

- 自動車用ガラス

 - 北米で減速感あるものの、新興国の回復もありグローバル全体では堅調

⇒第3四半期と同程度の利益水準を見込む

〔電子〕

- 液晶用ガラス基板：出荷は前四半期比で横ばい～微減
- 電子部材：オプトエレクトロニクス用部材の出荷が前四半期比で増加
半導体関連製品も堅調

⇒通期で昨年を超える利益を目指す

〔化学品〕

- クロールアルカリ・ウレタン：

出荷は高い水準が継続

塩ビ、苛性ソーダ価格も高い水準が継続

- フッ素・スペシャリティィ：

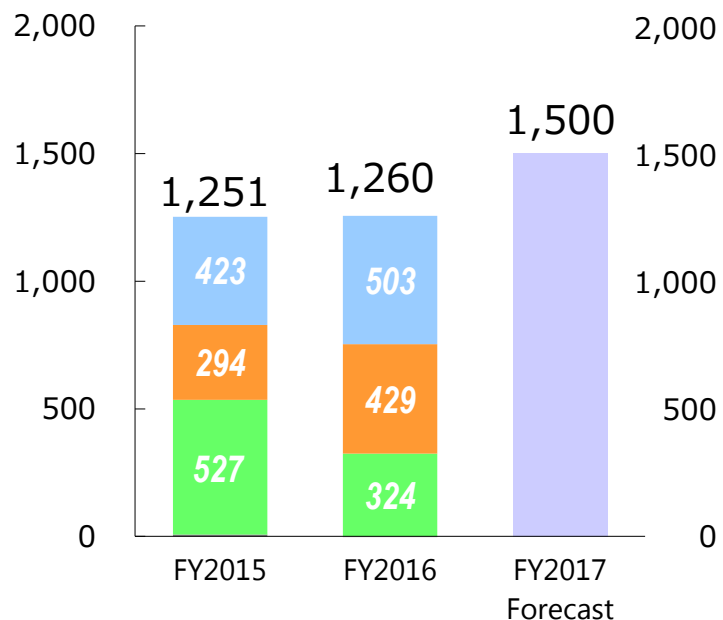
出荷は高い水準で維持

⇒第3四半期比で増益幅は小幅にとどまる見込み

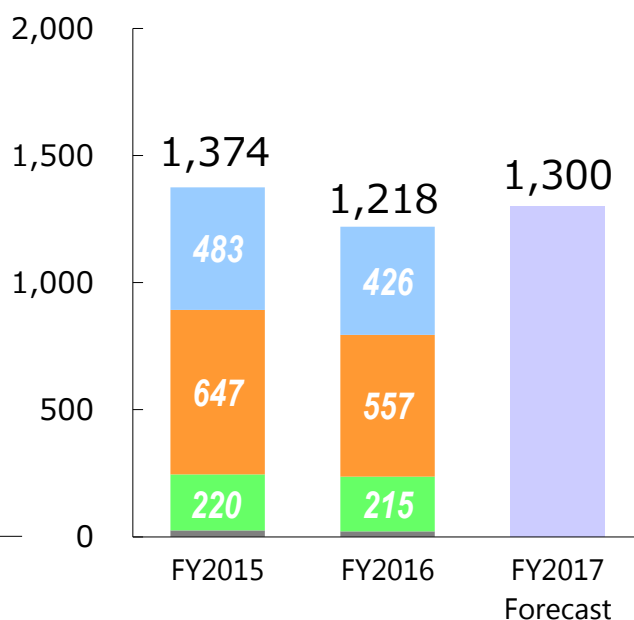
設備投資・減価償却費・研究開発費

(億円)

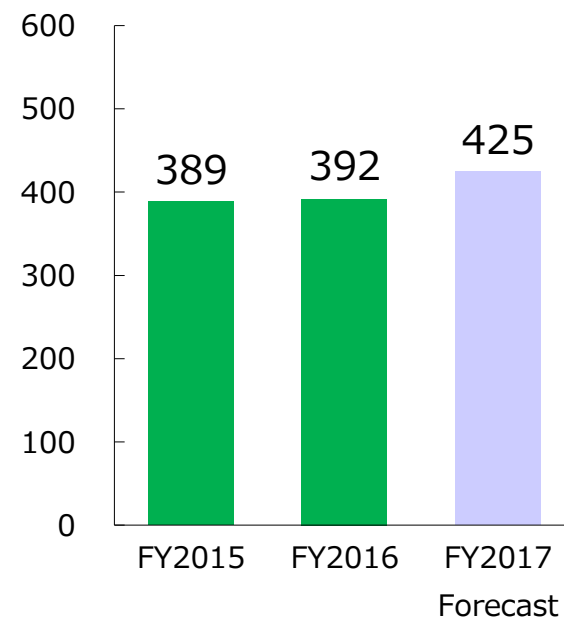
設備投資



減価償却費



研究開発費

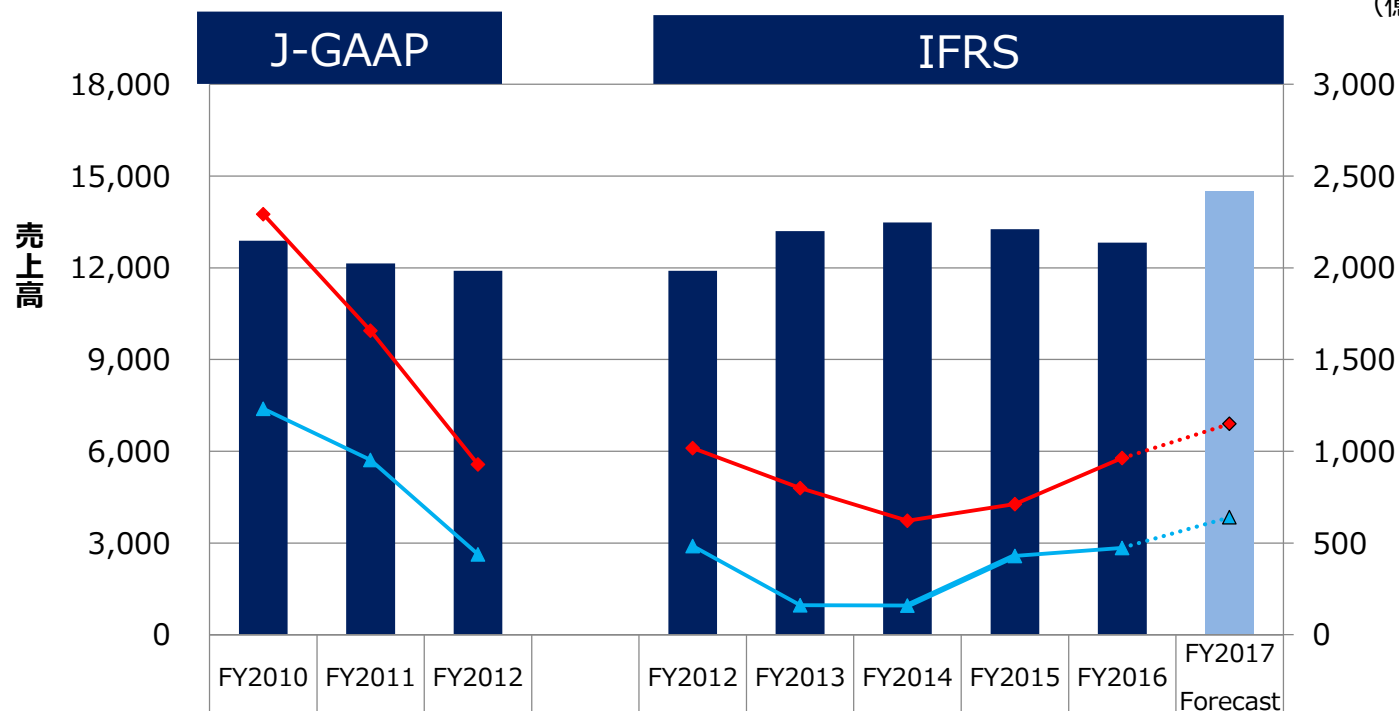


■ ガラス ■ 電子 ■ 化学品 ■ セラミックス・その他

付属資料

通期業績の推移

(億円)



営業利益・親会社の所有者に帰属する当期純利益

■ 売上高	12,889	12,147	11,900		11,900	13,200	13,483	13,263	12,826	14,500
◆ 営業利益	2,292	1,657	929		1,018	799	621	712	963	1,150
▲ 親会社の所有者に帰属する当期純利益	1,232	953	438		484	161	159	429	474	640
営業利益率	17.8%	13.6%	7.8%		8.6%	6.1%	4.6%	5.4%	7.5%	7.9%
一株当たり配当金	¥130	¥130	¥130		¥130	¥90	¥90	¥90	¥90	¥100

* 日本基準では、当期純利益を表示しています。

**当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合しています。
一株当たり配当金は株式併合の影響を踏まえて換算しています。

		J-GAAP					IFRS				
		08/12	09/12	10/12	11/12	12/12	12/12	13/12	14/12	15/12	16/12
自己資本当期純利益率(ROE) ^{*1}	%	4.7%	2.7%	15.8%	11.8%	5.0%	5.8%	1.6%	1.4%	3.9%	4.3%
総資産営業利益率(ROA) ^{*2}	%	7.8%	4.8%	12.9%	9.6%	5.2%	5.6%	4.0%	3.0%	3.5%	4.9%
自己資本比率	%	40%	42%	46%	48%	50%	47%	51%	54%	55%	55%
D/E (有利子負債・純資産比率)	倍	0.77	0.74	0.60	0.57	0.54	0.56	0.50	0.42	0.40	0.37
営業CF/有利子負債	倍	0.34	0.30	0.56	0.31	0.31	0.32	0.29	0.27	0.40	0.47
一株当たり当期純利益 (EPS) ^{*3}	円	167.65	85.60	527.60	409.50	189.40	209.51	69.85	68.85	185.60	205.15
EBITDA ^{*4}	億円	2,199	1,873	3,084	2,594	1,928	2,000	1,866	1,859	2,284	1,910

*1 【J-GAAP】 当期純利益/自己資本 (期中平均)

【IFRS】 親会社の所有者に帰属する当期純利益/親会社の所有者に帰属する持分合計 (期中平均)

*2 営業利益/総資産 (期中平均)

*3 当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合しています。一株当たり当期純利益は株式併合の影響を踏まえて換算しています。

*4 EBITDA (支払利息・税金・減価償却費控除前利益) = 税引前利益 + 減価償却費 + 支払利息

為替レート		FY2016					FY2017			
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	年間
円/ドル	期中平均	115.48	108.14	102.43	109.30	108.84	113.64	111.09	111.03	110.0
	期末	112.68	102.91	101.12	116.49	116.49	112.19	112.00	112.73	
円/ユーロ	期中平均	127.23	122.02	114.28	117.78	120.33	121.08	122.19	130.38	125.0
	期末	127.70	114.39	113.36	122.70	122.70	119.79	127.97	132.85	

2017年 主要発表事項（1）

発表日	内容
1月17日	半導体パッケージおよびサポート用ガラス基板を開発
1月31日	スマート調光ガラスのKinestral Technologies 社へ出資
2月1日	シームレスでコラボレーションを生む新研究開発体制を構築
2月2日	3年連続で世界最大規模のデザインの祭典「ミラノサローネ」に出展
2月7日	自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ
2月23日	Vinythai Public Company Limitedの買収完了について
3月6日	高機能フッ素系コーティング剤「SURECO®」のグローバル販売を開始
3月8日	3Dプリンタ造形用の鋳型材料「Brightorb™(ブライトーブ)」を発売
5月1日	「Wonderlite®」がクルーズトレイン「TRAIN SUITE 四季島」に採用
5月12日	インドネシアで建築用ガラスの生産体制を強化
5月23日	三次元曲面形状の車載ディスプレイ用カバーガラスを量産開始
6月19日	鉄道用ガラスが新たな寝台列車「TWILIGHT EXPRESS瑞風(みずかぜ)」に採用
6月20日	フィリピン建築用ガラス子会社の全株式を売却
7月6日	導光板用ガラスXCV™の大量生産を開始
8月1日	商号の変更に関するお知らせ

2017年 主要発表事項（2）

発表日	内容
8月24日	第11世代TFT液晶用ガラス基板の製造窯を中国で建設
9月14日	AGC旭硝子の曲面形状の車載ディスプレイ用カバーガラスを搭載した世界初の量産車が登場
9月20日	AGCブランドの発信拠点として、「AGC Studio」がリニューアルオープン
9月25日	子会社CMC Biologics社のバイオ医薬品生産能力を増強 —デンマーク拠点の培養槽を増設し、抗体医薬品の需要増に対応—
10月3日	AGC旭硝子とトヨタ自動車、ショールーム用ガラス構造の省エネ技術「上吊型ダブルスキンシステム」を共同開発
10月4日	軽量内装用カラーガラス「ラコベル®プリュム®」が2017年度グッドデザイン賞を受賞
10月5日	創立110周年記念展「FEEL! GLASS」開催のお知らせ
10月6日	オープンイノベーションを促進するスペース「DEJIMA」に協賛
10月19日	AGC旭硝子の切子調ガラスオーナメントがトヨタ自動車株式会社LEXUSの新型「LS」に採用
10月23日	地球温暖化を抑制する環境対応型新冷媒「AMOLEA® 1224yd」の国際認証を取得
10月26日	第45回東京モーターショー2017「TOKYO CONNECTED LAB 2017」に出展

予測に関する注意事項

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権は旭硝子株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。



AGC旭硝子

〒100-8405
東京都千代田区丸の内一丁目5番1号
新丸の内ビルディング

問い合わせ先：経営企画部 広報・IR室
E-mail : investor-relations@agc.com
Tel : 03-3218-5096
Fax : 03-3201-5390

www.agc.com